

本年もいろいろとお世話になり、ありがとうございました。
来年も皆様のお役に立てるよう事業展開してまいりますので、
宜しくお願い致します。

年末年始ですが、12月28日(土)～1月5日(日)まで休館とさせていただきます。1月6日(月)から平常開館いたします。

Topics

分析技術実践講座② 終了!

- 環境負荷 (RoHS/REACH規制物質、元素の特定) 分析技術 -

12月6日(金)と14日(土)に環境負荷物質分析技術研修を開講し、最新のRoHS/REACH規制情報へのアップデートと分析業務の実務について学んで頂きました。

特に、精密分析に使用するICP発光分析装置について、外部専門家を招き、環境物質だけではなく一般的な精密分析の実習を行いました。



ICP発光分析装置実習の様子

Topics

フライス盤旋盤加工技術講座(2回目) 終了!

- 切削加工の基礎理論とフライス盤と旋盤の基本操作技術 -

11月16日(土)に開講した、フライス盤・旋盤加工技術講座(下期)が12月7日(土)で、全4日間の日程を終了しました。初日に切削加工概論、加工の基礎、及び安全についての講義を受けた後、操作の練習を行い、2日目以降は、受講者8名が2グループに分かれフライス盤と旋盤を使用し、工作物の取付から加工方法まで学びました。



フライス盤実習の様子

Topics

QC検定3級取得支援講座(2回目) 終了!

職場において発生する問題の原因分析や、改善効果の管理はQC検定3級レベルの手法的な知識・能力が必要とされています。今年度2回目となる本講座では、1日プラスの4日コースでじっくりと学んで頂きました。引き続き当センターでは、初めて品質管理を学ぶ方を対象に、1月10日、17日、24日の3日コースで品質管理入門講座を予定しております。詳しくはHPをご確認下さい。



3級取得支援講座の様子

第3水曜日は・・・
イブニングの日

皆様お誘い合わせのうえ、
ご参加頂けますようお願いいたします。

『第220回産学官イブニング研究交流会』へのご案内

日時：1月15日(水) 18時00分～ せきのいち

講演 「ウルトラファインバブルの現状と展望」

講師 岩手県南技術研究センター 所長 小田嶋 次勝



「第14回企業情報交換会inいちのせき」について、ご協賛いただける企業様を募集しております。ご協賛を頂いた企業様については、第14回企業情報交換会inいちのせきの冊子に企業PRを掲載させていただきます。ご応募をお待ちしておりますので、よろしくお願いいたします。

また、出展枠に若干余裕がございます。2次募集を12月20日15時迄(先着順)行いますので、当センターにお問合せ下さい。

◆日時 令和2年2月19日(水)

◆会場

展示 10:30 ~ 15:00

一関市総合体育館 (一関市狐禅寺字石ノ瀬25-3)

講演 16:15 ~ 17:45

ベリーノホテル一関(一関市山目字三反田179)

交流会 18:00 ~

ベリーノホテル一関

◆内容 (1)展示 : 参加企業等による技術・製品の展示 80ブースを予定

(2)講演 : 演題 東北地域の持続的な成長に向けて

講師 東北経済産業局長 相楽 希美 様

(3)交流会 : 会費 4,500円



◆協賛金5,000円(一口)

◆2次募集内容 : 10社(先着順) 12/20 15時迄

*問い合わせ 担当:菊地 mail:kikuchi@sirc.or.jp Tel:0191-24-4688

各種講座・セミナーのご案内*詳細は当センターHPをご覧ください。

【当センター主催講座】

- 1)品質管理入門講座 4級取得を目指す方等、品質管理の基本研修*1 1/10(金)、1/17(金)、1/24(金)3日コース
- 2)分析技術習得講座 外部講師(東芝)によるX線CT装置のトレーニング*1 1/22(水)、1/23(木)2日コース
- 3)分析技術実践講座 微量微小領域の異物の特定技術研修*1 1/24(金)、2/1(土)2日コース 微量微小異物判定
- 4)技能検定機械加工資格取得支援講座 普通旋盤1,2,3級*1 / フライス盤2,3級*2 / NC旋盤1,2,3級*2
NCフライ盤1,2級*2 1/25(土)、2/1(土)、2/8(土)、2/22(土)4日コース

*1:募集中です。電話での問合せも受け付けております。*2:満席となりました。ありがとうございます。

高速液体クロマトグラフ質量分析装置 (LC-MS)

今月号より3回に渡り、当センターで保有している成分分析装置を紹介いたします。12月は高速液体クロマトグラフ質量分析装置(LC-MS)です。この装置は、溶液中の有機化合物を高速液体クロマトグラフにて分離を行い、その分離した化合物をさらに質量分析計に導入し、定性・定量を行います。

分離・選択性の高いクロマトグラフと質量分析計の組み合わせにより、夾雑物の多い試料の定量に向いています。また、ESIイオン源を搭載しており、多くの成分に対応することが可能です。

主な用途は、機能性成分などの食品分析、プラスチック等の添加剤、上水道中のハロ酢酸、農薬等です。

次回は、ICP発行分析装置(ICP-AES)を紹介いたします。



LC-MS

分析の相談等、お気軽にお問合せ下さい!!